

デフスポーツを通して共生社会へ！

2022年9月9日、10日にオーストラリア（ウイーン）で開催された国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）総会にて、東京が2025年デフリンピックの開催地に正式決定しました。

この決定に基づき、一般財団法人全日本ろうあ連盟は東京都など関係機関と協議を重ね、多くの理解と協賛をいただきながら準備を進めています。大阪においても全日本ろうあ連盟からの要請に応え、東京デフリンピックを成功させるため下記の取り組みを進めてきました。これまで単発の形で出してきた情報を整理し、大阪として一つにまとまって与えられた課題を達成するために「大阪デフスポーツ・サポーター委員会だより」の発行を行うことになりました。

1. 経過

- ① 2023年3月31日（金）
第1回委員会開催、これまでの経過周知、体制案作成
- ② 2023年4月5日（水）
全日本ろうあ連盟久松事務局長と懇談会、2025年東京デフリンピックと準備について、大阪へのお願い

③ 2023年4月26日（水）

第2回委員会開催、取り組み内
容案討議

④ 2023年5月31日（水）

第3回委員会開催、取り組み内
容案討議

⑤ 2023年6月28日（水）

第4回委員会開催、取り組み内
容案討議

⑥ 2023年7月26日（水）

第5回委員会開催、取り組み内
容案討議

2. 委員会体制・各担当決まる

委員会体制は「だより」1号にて掲載したとおり。各担当は第4回委員会にて決まりました。

各担当分野

① 会員（登録者）拡大大当

大聴協各ブロック長（小川、丘村、池宮城、伊藤、中塚）、里井、真鍋

② 会社・団体訪問担当

清田、水野、大竹、磯野、廣田、井澤、中岡、里井、池宮城

③ イベント（上映会含む）担当

今西、中岡、長宗、丘村、千葉

鍋島、安倉

④ 宣伝（SNS宣伝含む）担当

磯野、千葉、川見、スポーツクラブ

⑤ 事務局担当

今西、中岡、千葉、鍋島、安倉

⑥ 会計担当

長宗、廣田

3. 会員拡大状況

個人77口、団体1口

（※7月26日現在）

個人会員

大阪市：31口（目標300口）
北摂：9口（目標150口）
京阪：15口（目標150口）
河内：13口（目標150口）
泉州：9口（目標200口）

団体会員

門真市ろうあ部会（京阪）

4. 宣伝活動

① 「みんなのデフリンピック」上映会

- ・ 上映時間 約21分
- ・ 上映期間 2025年10月31日まで
- ・ 協力費 1人500円

（内300円は全日本ろうあ連盟へ）

※様々なイベントで開催。「みんなのデフリンピック」上映会は

単独ではなく、他のイベントと

同時開催が望ましい。

※デフスポーツ・サポーター登録者は無料

※教育機関（聴覚支援学校等の特別支援学校、小学校、中学校、高等学校）が主催の上映会）は無料

※デフスポーツ・サポーター拡大のため企業訪問した場合の上映会は無料

※行政主催の上映会は無料（ただし、事務費5,000円を経費として請求）

② デフリンピック、

デフサポーター制度学習会

・ デフリンピックや、デフサポーター制度についてよく分からないと言った声がたくさんあります。そのため各地で学習会を開催し理解と啓発を図ります。

（講師は大阪デフスポーツ・サポーター委員があたります）
・ 学習会講師派遣希望は申込用紙に記入の上申し込んでください。（申込書はろうあ会館にあります。大聴協のホームページからもダウンロード出来ます）

② SNSを利用した情報発信

・ 公益社団法人大阪聴力障害者協会のホームページの活用

・ 順次Twitter等にも広がっていく予定。